

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
1	◎					1-1-1	農業生産の支援	農政課	収益性を考ええると消費拡大を図ることも必要。市内には大学があることから、産学官連携して、消費拡大に取り組むことが必要ではないか。	ご意見を踏まえまして、産学官連携等も検討しながら、多方面の意見を取り入れて消費拡大に向け今後も取り組んでまいります。	D(参考)	—	23
2		◎				1-1-1	農業生産の支援	農政課	銀河のしずくは作るのに何年もかかったので、また次のブランド産物を手掛けていかないとけないと思う。	ご意見のとおり、新品種の開発には長い歳月が必要となるため、県や関係機関・団体と連携してまいります。	D(参考)	—	23
3				◎		1-1-2	担い手の育成	農政課	「目標指数—手段—評価指標」の関係性が希薄なものがあるので検討してはどうか。 ■目標指数:農業の担い手が育っています ■手段:施策の方向や主要2事業 ■評価指標:「担い手への農地集積率」と「集落営農組織の法人化率」とあるが、「現状と課題」および「施策の方向」に新規就農者の確保が指摘されているのだから、「新規就農者の増加」を評価指標に入れるなどして、この3要素がより関係性の強いプランにすべきではないか。	現状と課題や施策の方向の中で、農業の基盤を強化するため産業としての農業を支える担い手を育成・確保するための施策であり、評価指標として、担い手による市内の農地の耕作状況が確認できる担い手の農地集積率と経営基盤が強化された集落営農組織の法人化の状況を設定するものであります。	E(困難)	—	26
4		○				1-1-5	森林の保全	農村林務課	花粉量の少ない杉の木があるようで、将来的に樹種転換にはいいと思う。(エリートツリー)	樹種転換の推進につきましては、松くい虫の被害拡大防止を念頭に進めておりますが、ご指摘いただきました健康に配慮した杉の樹種転換につきましても今後検討させていただきます。	D(参考)	—	32
5				◎		1-1-5	森林の保全	農村林務課	森林の保全を進めるため植樹などのイベントの開催が施策の方向に盛り込まれているが、成果指標の「植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合」は、第2期ではH31年段階では5.4%とされている数値も、第1期のH28年段階での7.0%から大きく後退している。推測だがイベントの開催のような一過性の取り組みでは、現実を動かす大きなうねりにはならない証拠ではないかと懸念している。啓発事業に参加した方が、継続的な森林保全活動に少しでも多く参加していくような進行管理が必要だと思う。	ご指摘のとおり第1期中期プランでは、市民アンケート調査の中で平成25年度実績の4.8%を基本に10年後の目指す姿を回答者の10%が活動に参加した市民の割合として設定したものであります。しかし、現実には目標数値に届いていないことから、第1期プランの振り返りを踏まえて、市独自の水源地調査や木工教室のほか山仕事講座などを継続していくとともに、コミュニティー単位で行っている情報についても広く情報提供することで、少しでも市民の方に興味を持っていただけるよう取り組んでまいります。	D(参考)	—	32
6				◎		1-2-2	事業分野の拡大	商工労政課	「事業実施の指標」をもって「成果の指標」としているものがあるが、指標をアウトカム(結果)にしたほうがよいのではないかと。たとえば、成果指標に「成長分野への参入を目的としてプロジェクトマネージャーの派遣及び起業化支援センターの支援を受けた企業の件数」とあるが、それと同時に「支援を受けて参入を果たした企業件数」を入れてはどうか。 ※その際は、参入できたという指標の定義を明確にしておく必要がある。	参入できたという指標の定義は、それらの取り組みによって利益をもたらしている状態と考えますが、その測定には時間を要し判定が難しいため、参入の取り組み(事業実施)を指標と位置付けました。 よって、事業実施への補助金交付実績となる「市の支援により成長分野に取り組んだ件数」と、補助金の交付前、交付期間中に関わらず事業実施の伴走支援を行う「プロジェクトマネージャー派遣および起業化支援センターの支援を受けた件数」を指標としています。	C(同一)	—	36
7				◎		1-3-2	商店街の再生	商工労政課	「新規就業者」に対する支援施策を講ずることで活気ある商店街再生が期待できる。その際、従来の起業支援重視から、業務継続支援に力点をシフトすることも重要かと思う。それには、金融機関による顧客紹介や起業希望者とのマッチング事業もあわせて行うことが肝要かと思う。	金融機関とは定期的な情報交換に加え、市支援施策の実施にあたり事業者の「伴走支援」を展開しています。商店街の再生には起業が増えること、業務継続のどちらも重要であると考えております。	D(参考)	—	39
8				◎		1-3-2	商店街の再生	商工労政課	企業誘致の推進で「新規誘致企業数」と「操業継続社数」が成果指標として記載されている。商店街の再生でも「市街地の新規出店数」があることから、同じように「営業継続店舗数」も成果指標に入れるべきではないか。	営業している店舗の事業継続を何年も測定・確認しつづけていくことは、困難であることから成果指標には適さないと考えます。	E(困難)	—	39

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
9			◎			1-4-1	観光の魅力向上	観光課	石鳥谷の道の駅については、以前より地域協議会で議論してきた。石鳥谷駅前駐車場の整備については中期プランに記載があるので、単年度で事業が完結しない道の駅の整備関係についてもプランの中に項目を記載してもよいのではないか。 【記載について検討する旨を回答】	道の駅「石鳥谷」の各施設については、駐車場の一部を改修するとともに、既存施設の改装や活用方法の見直しを行うなど、南部杜氏の里として特色のある、より魅力的な施設となるよう再編整理を検討してまいります。 【石鳥谷総合支所地域振興課】	A(全部)	◇主要事業 「道の駅「石鳥谷」施設再編整備検討事業」を追加	42
10		◎				1-4-1	観光の魅力向上	観光課	仙台空港に到着した観光客向けに松島・平泉まで観光バスが出るというニュースを見た。お雛様の期間限定など、大迫にそのバスを連れてくることはできないか。	当市においても、遠野・平泉と連携した誘客活動を行っておりますほか、今年度、花巻観光協会が実施主体となって、宿場の雛まつり開催期間中、市内主要観光施設等を周遊する「あったかいなはん」号を運行し、誘客促進と二次交通の充実を図る取り組みを行っております。	D(参考)	—	42
11			◎			1-4-1	観光の魅力向上	観光課	南部杜氏の里づくりの推進という課題が石鳥谷にはあるが、中期プランにまったく記載がないので、記載してもよいのではないかと。 【記載について検討する旨を回答】	道の駅「石鳥谷」の各施設については、駐車場の一部を改修するとともに、既存施設の改装や活用方法の見直しを行うなど、南部杜氏の里として特色のある、より魅力的な施設となるよう再編整理を検討してまいります。 【石鳥谷総合支所地域振興課】	A(全部)	◇主要事業 「道の駅「石鳥谷」施設再編整備検討事業」を追加	42
12	◎					1-4-3	移動しやすい観光地	観光課	タクシー運転手を認定ガイド制にして、駅にいてくれるようにすれば、観光客も一目見て分かるし、花巻を楽しんでいただけたらと思う。タクシー業界としてこうした取り組みが行えるように、観光タクシーなどへ支援を行ってもよいのではないかと。(共通のマークなどをつけるのも良い)	タクシー業協同組合をはじめ、関係団体、企業等との調整が必要となることから、その有効性を含めて観光協会等とともに検討します。	D(参考)	—	46
13	◎					1-4-4	おもてなしの向上	観光課	花巻の観光案内所の存在が目立っておらず、どこに行けば総合的な観光情報を聞くことができるのかわからない観光客が多い。	花巻観光協会が花巻駅・新花巻駅に観光案内所を設置し、市としても運営支援をしておりますが、観光案内所のあり方について改善の余地があるかと花巻観光協会と検討してまいります。	D(参考)	—	47
14				◎		1-5-1	起業の推進	商工労政課	個々の事業者の個人努力や既存の商業団体に期待することも大事かもしれませんが、農業がそうであるように「集落営農」に見習って「集落営商」という仕組みでこの難局を乗り切ることが必要ではないかと。 ※こつばら土澤はテナント会を結成し、協働した商店(商業)活性化に取り組んでいる。後継者が廃業した店舗を引き継ぐ新たな挑戦も始めている。(地縁血縁によらない跡継ぎ)	ご提案のような手法も従来の枠組みでは解決できない課題に対して有効と考えられることから、水平展開できるか調査し検討をしたいと存じます。	D(参考)	—	49
15			◎			1-5-3	企業誘致の推進	商工労政課	施策の方向に新たな産業団地の整備とあるが、すでに新規企業が入れないということであれば誘致に影響するため、3年のうちの早い段階で整備をするべき。	現在残る未分譲区画は、条件面(面積、アクセス、価格、地耐力等)で新規の誘致案件に対応できないケースがあります。企業が求める様々なニーズに応えられる産業団地の整備が必要です。 施策の方向で「新たな産業団地の整備」について記載していますが、早期の分譲開始ができるよう、29年度予算案に基本設計費を計上しているほか、28年度補正予算において賃貸工場整備事業費を計上しています。	C(同一)	—	51
16		○				2-1-1	道路環境の充実	道路課	田瀬湖のポート場は非常に良い資源だと思うが、道路の拡幅や迂回路があればより人が来ると思う。	道路の拡幅および迂回路の整備については、急斜面の湖面側または山側を拡幅することになり莫大な費用がかかることから早期の事業化は困難な状況であります。	E(困難)	—	58

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
17					◎	2-1-5	花のあるきれいなまちづくり	生活環境課	花いっぱい運動を子供会で実施しているが、花壇の整備や水やりなどの負担が大きい。昔は表彰されるなどの制度があったようで、そのような目標があればやりがいがあるのだが、花いっぱいに関する表彰等を今後行う予定はあるか。	花壇に係る表彰制度といたしましては、旧花巻市から実施しておりました「花いっぱいコンクール」がありましたが、応募点数が横ばいであったこと、入賞団体・個人が同じ傾向であったことなどから、平成24年度をもって終了しております。現在は表彰制度に代わり、広報等で花壇実践者の活動を紹介することとしております。また、新年度から新たに担当部署を設置することから、今後の花いっぱい運動の在り方について検討してまいります。	D(参考)	—	63
18		◎				2-2-2	公共交通の確保	都市政策課	公共交通について、バスの便(路線)がこれ以上減らされないようにしてほしい。	民間事業者が運行するバス路線については、利用者が少ないこと、また運転手の確保が困難な状況となっていることから減少する方向にあります。市ではこれを踏まえ、民間バス路線の運行を支援する公共交通確保対策事業を進めるとともに、予約応答型乗合交通を拡充する内容を入れた地域公共交通網形成計画を策定中であり、今後もその方向性に基づき公共交通の確保に取り組んでまいります。	C(同一)	—	69
19					◎	2-2-6	汚水の適切な処理	下水道課	現状と課題の中で、「市設置型浄化槽の整備が進んでいないことが課題となっています」とあり、施策の方向の(2)水洗化の推進では「浄化槽の設置に係る補助金交付、維持管理」と記述されている。このまま読めば、市設置型浄化槽の整備を行わないというように解釈できるが、特に高齢者世帯にとっては、煩雑な手続きが不要な市設置型浄化槽の整備は必要であるので、施策の方向に記載するべきではないか。	浄化槽整備のあり方については、個人設置型浄化槽の手法を取り入れることを含めて検討してまいります。	D(参考)	—	75
20					○	2-2-7	情報通信環境の充実	秘書政策課	上小山田テレビ共聴組合に加入している。平成8年ごろに施設は整備したが、ケーブルが20年くらいで耐用年数を迎える。ケーブルを張り替えないといけないが、保守業者によると100戸の加入世帯に対して3,000万円程度かかるといわれた。それに対する補助をお願いしたい。また補助に関して中期プランに盛り込んでいただきたい。	テレビ共聴組合が行う共同受信施設の整備については、国の助成制度を活用し、市から組合に対してテレビ難視聴地域解消事業費補助金により助成を行った経緯があります。国では助成開始当初から、組合設立後の施設維持管理や老朽施設の更新について、計画的に管理費を徴収・積立など行うよう求めており、合併前旧市町及び新市においても、組合が事業導入する際には、その旨をお伝えしております。市内には50を超える共聴組合があり、それぞれの組合において施設の維持管理を行いながら、老朽施設の更新に備えているものと存じております。なお、全国市長会が国に対し老朽施設の改修に対する支援措置の新設に向け要望を行っております。	D(参考)	—	76
21					◎	2-2-7	情報通信環境の充実	秘書政策課	東和町内は中山間地が多いため、NHKや民間放送の視聴が困難な地域がある。その解消に補助事業を活用して取り組んでいる組合が22ある。しかしながら、ケーブルが老朽化してその対策が望まれているので、難視聴解消の視点から必要な対策と考えるので、「現状と課題」に追加するとともに、「施策の方向」にも記述するべきではないか。	テレビ共聴組合が行う共同受信施設の整備については、国の助成制度を活用し、市から組合に対してテレビ難視聴地域解消事業費補助金により助成を行った経緯があります。国では助成開始当初から、組合設立後の施設維持管理や老朽施設の更新について、計画的に管理費を徴収・積立など行うよう求めており、合併前旧市町及び新市においても、組合が事業導入する際には、その旨をお伝えしております。市内には50を超える共聴組合があり、それぞれの組合において施設の維持管理を行いながら、老朽施設の更新に備えているものと存じております。なお、全国市長会が国に対し老朽施設の改修に対する支援措置の新設に向け要望を行っております。	D(参考)	—	76

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
22					◎	2-2-7	情報通信環境の充実	秘書政策課	現状と課題に「すでに光通信環境が整備されたエリア内での加入率が目標に達するまで、新たな光通信エリア整備を行わないこととなりました」とあるが、現在の加入率と目標値はどうなっているのか。また、今後整備を見込んでいるエリアはどこになるのか。	通信事業者による光通信エリア整備を要望しているのは東和地域の中内・谷内地区です。 光通信エリア整備の条件は通信事業者の営業方針により変更となる場合があることから、状況を注視しながら要望を続けてまいります。 通信事業者が光通信エリア整備を計画していない、大迫地域の内川目・外川目及び東和地域の田瀬においては、市が光ファイバー網を敷設する方法と無線によるWiFiを用いて快適なインターネット環境を提供する方法が考えられます。 費用対効果を検証しながら、快適なインターネット環境の提供について検討してまいります。	D(参考)	—	76
23	◎					2-3-1	危機管理体制の強化	防災危機管理課	「危機管理体制の強化」の指標に、自主防災組織の結成割合があるが、今は量から質へ転換すべきで、内容について検討していただきたい。	市内には自主防災組織の結成に至っていない地域もあり、引き続き自主防災組織の結成を推進するための指標を設定しますが、新たな成果指標として「防災訓練を実施した自主防災組織数」を設けることにより、単に結成数だけの比較ではなく、実質的な活動の充実を目指すこととしております。	C(同一)	—	79
24	◎					2-3-1	危機管理体制の強化	防災危機管理課	市の地域防災計画の下に推進計画を作成することを提案したい。自主防災組織ができて活動していない状況がある。	施策の方向である「自主防災組織の活動促進」のため、市の地域防災計画に基づき「自主防災組織等活動ガイドライン」を策定し、自主防災組織の活動の活性化を促しています。平成28年6月に浸水想定区域が見直されたことに伴い避難の考え方も見直されたことから、平成29年度にガイドラインを見直し、自主防災組織に周知し活動の活性化を図ることとしています。	C(同一)	—	79
25					◎	2-3-1	危機管理体制の強化	防災危機管理課	東和町内は中山間地が多いため、NHKや民間放送の視聴が困難な地域がある。その解消に補助事業を活用して取り組んでいる組合が22ある。しかしながら、ケーブルが老朽化してその対策が望まれているので、防災上の視点から必要な対策と考えるので、「現状と課題」に追加するとともに、「施策の方向」にも記述するべきではないか。	市は防災情報の伝達においては、電話連絡、エリアメール、防災ラジオの自動起動、えふえむ花巻による防災情報の放送、東和地域有線放送など複数の手段により伝達しております。テレビも防災情報等を取得できる媒体ではありますが、主たる目的はテレビジョン放送の視聴であることから、テレビの難聴対策は防災に関する施策においては記述しないことといたします。	E(困難)	—	79
26		○				2-3-2	自然災害対策の強化	防災危機管理課	大雨などの風水害時は、大迫の街は平地となっており、水に浸かってしまう。大迫高校などの高いところに位置する避難所へ避難することが有効で、そうした施設の点検や整備が必要と感じる。	大迫地区の指定緊急避難場所である大迫振興センターは、近年洪水等による被害のない場所に立地しておりましたことから、地域の皆様のご意見を伺い指定緊急避難場所として指定したところでありますが、中井川の氾濫の可能性を検証しながら、新たな緊急避難場所の指定について検討してまいります。	D(参考)	—	81
27					◎	2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	屯所の整備について場所によって整備状況に差があるので、整備計画を示してほしい。	「花巻市消防団組織等見直し委員会」において、効果的な組織体制と屯所・車両・資器材の効率的な運用について話し合いを重ねており、現在、老朽化の著しい建物から更新整備を行っています。今後、「花巻市消防団再編計画」を踏まえ、整備計画を決定してまいります。	D(参考)	—	83
28					◎	2-3-3	消防力の強化	消防本部総務課	人口減少に伴い若い人が少ないため、消防団の新団員の確保に力を入れてほしい。	地域の消防力の向上を図るため、消防団員の確保対策について下記の通り中期プラン案に掲載しています。 ◇施策の方向 (2)地域の消防力の向上 ・消防団員の確保対策	C(同一)	—	83

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A～Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
29	◎					2-4-3	交通安全の推進	市民生活総合相談センター	高齢者事故が多いので、高齢者の運転免許返納の推奨は大切だが、返納により交通の足を奪われてしまう。タクシーなどを割安に乗れるような支援が必要と感じる。	運転免許の自主返納に伴う交通の確保は、現在でも、タクシー業協会によるタクシー料金の10%割引サービスがありますが、市では自主返納制度に基づく自主返納者に対する独自の優遇策について現在検討を進めております。 また、自主返納された方で、市が実施している福祉タクシー助成券が利用可能な方に対しては、その仕組みについての周知を図るとともに、石鳥谷地域を皮切りとして実施を予定している、どなたでも利用可能な予約応答型乗合交通の拡充を順次図ってまいります。	C(同一)	—	90
30	◎					2-5-1	地域福祉の推進	地域福祉課	p17の地域福祉の推進で「要援護者台帳」と記載されているが、現在は、「避難行動要支援者名簿」という名称になっているはず	現在、要援護者台帳から避難行動要支援者名簿の移行の作業中(作業終了はH29年12月末の予定)であり、現時点においては要援護者台帳は継続していることから「要援護者台帳等」と表記しておりますが、ご指摘の通り今後使用されなくなることが確定しており、誤解をまねくおそれがあることから用いないこととします。	A(全部)	◇施策の方向 (1)支えあい・見守りの体制づくりの推進 ・災害時等における要支援者の地域での見守り	93
31	◎					2-5-1	地域福祉の推進	地域福祉課	施策の方向性に「民生委員児童委員の負担軽減と活動の充実」とあるが、防災に関する取り組みや、総合事業に関する取り組みなど、民生委員の負担は増えている。負担軽減とは相反するのではないか。	平成29年度より地域福祉訪問相談員をさらに増員して、民生委員の負担軽減を図ってまいります。そのなかで、地域福祉訪問相談員と連携して民生委員の活動の充実を図ってまいります。また、広報はなまきやふれあい出前講座を活用して民生委員活動の周知をさらに図り、民生委員が活動しやすい環境づくりを進めてまいります。	C(同一)	—	93
32	◎					2-6-1	健康づくりの支援	健康づくり課	高齢者の生涯学習について。健康寿命を延ばしていくことを考えていくべき。寿命自体を伸ばすのは難しいが、健康寿命はスポーツや生涯学習など様々な取組で伸びていく。市の取り組みの中に健康寿命について記載すべき。生涯学習と健康づくりが連携し、市全体に呼びかけたり、シニア大学等に入り込んで呼びかけたりといった取り組みが必要だ。 【健康寿命について踏み込んだ書き方ができるか確認する旨回答】	平均寿命が伸びている中で、要介護や寝たきりなど自立した生活ができない、いわゆる「不健康期間」を減らし、健康寿命を延ばしていくことが重要であると言われております。 このことは、健康寿命という直接的な表現ではありませんが、政策2-6「健康づくりの推進」の目指す姿として「心身ともに健康で暮らしています」という表現で現したものでありましたが、健康寿命の取り組みは大切でありますので、市民に分かりやすい表現として施策の方向に追記し、今後とも、各分野における講座等と連携しながら、健康づくりの取り組みを進めてまいります。	A(全部)	◇施策の方向 ・(1)健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援	100
33	◎					2-6-3	地域医療の充実	健康づくり課	市には耳鼻科が1か所しかない。受診するのにものすごい長い時間を要するため、北上市の病院に行く場合もある。耳鼻科の先生がもう少しいれば、安心して過ごせると思う。市内に少ない診療科の増員が必要だと考える。	耳鼻科のほか、産婦人科や小児科なども不足していると認識しており、そのような現状を踏まえて、総合花巻病院の移転新築事業の支援など地域医療ビジョンに掲げる医師確保に向けた取り組みに努めてまいります。なお、総合花巻病院では現在、週2日と第2・第4土曜日に耳鼻咽喉科の診療をしていますが、移転新築後は、さらに診療日を増やす努力をしたいと伺っております。	C(同一)	—	104
34	◎					2-6-3	地域医療の充実	健康づくり課	温泉旅館を経営しているが、お客様の具合が悪くなり、救急車であったり、直接病院に行っていただくことがあるが、受け入れを拒否されたり、たらいまわしにされることがある。安心して医療が受けられる環境があることが観光客のみならず、市民にも安心感が生まれる。そのような医療環境の充実が必要と考える。	患者の症状に応じて市内の病院や診療所が対応していく救急医療体制の構築が必要である現状を踏まえて、県地域医療ビジョンおよび花巻市地域医療ビジョンに掲げる一次救急病院を確保するとともに、二次・三次救急病院との連携を強化してまいります。また、二次救急病院である総合花巻病院の移転新築事業の支援し、救急医療体制の確保に努めてまいります。	C(同一)	—	104

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
35					◎	2-6-3	地域医療の充実	健康づくり課	かかりつけ医、かかりつけ歯科医とちがい、かかりつけ薬剤師は住民にとって比較的新しい概念であり、なおかつ国は調剤報酬での政策的誘導を図っているため、指標とするには慎重に行ったほうがよい。	病診連携や上手な医療機関の利用への市民意識の高まりを示す指標として、かかりつけ医、歯科医と同じく薬剤師も成果指標に取り入れ三師会の連携と考えておりましたが、「かかりつけ薬剤師」は、H28.4に制度が始まったばかりでありますことから、薬剤師会と連携しながら、まずは市民への制度周知に努めてまいります。(成果指標名を「かかりつけ薬剤師を知っている市民の割合」に修正し、目標値の見直しを行います。)	A(全部)	◇成果指標 ・かかりつけ薬剤師を知っている市民の割合 H29 50% H30 55% H31 60%	104
36	◎					3-1-1	子育て支援の充実	こども課	小学校に入る前、入った後などに発達障害かどうかの検査や確認する取り組みが必要と考える。	発達障がいについては、乳幼児健康診査時や保育園・幼稚園在園時での対象児の把握を実施しており、発見後はこども発達相談センターでの療育に繋ぐ体制をとっております。施策の方向(1)子育て支援体制の強化に「障がい児等に対する相談支援の充実」として記載しており、ご意見の内容については今後も取り組みを進めてまいります。	C(同一)	—	108
37					◎	3-1-1	子育て支援の充実	こども課	施策の方向の「学童クラブの安定的な運営支援」について、ぜひお願いしたい。職員が国家資格の取得をしたいが、1年に2人取得できるような機会の保障。社会保険の加入促進の検討。保育所・小学校との交流も定期的・計画的に実施できるようにしてもらえれば、職員も満足のいく運営等ができるかと思う。	平成27年度に市内学童クラブの標準仕様として策定した「花巻市学童クラブ運営指針」に基づき、支援員の処遇等の体系統一を目指し取り組みを進めているところであります。 なお、資格に関しては国家資格ではないが都道府県が実施主体として開催する研修の受講により放課後児童支援員認定が可能となることから、そのための研修機会の確保について働きかけてまいります。	C(同一)	—	108
38					◎	3-1-1	子育て支援の充実	こども課	第3子以降保育料負担額軽減事業について、対象全児童の保育料はどの程度軽減されるのか。また、全対象児童の保育料の無料化は不可能なのか。	軽減については、対象児童について住民税課税額が97千円以上の世帯については保育料の2分の1、同97千円未満の世帯については保育料の全額を補助することとしております。(平成28年度交付見込み:対象者282名 補助額28,990千円) 全対象児童を無料化した場合、平成28年度交付見込み額に21,000千円ほどの追加交付が必要となることから、市の財政事情を踏まえると直ちに実施することは困難な状況です。 国においても無償化拡充の動きがあり、動向を見極めつつ無料化の対象拡大を検討してまいります。	D(参考)	—	108
39					◎	3-1-1	子育て支援の充実	こども課	雇用年齢が上がってきており、家に大人がいない。小学生になると放課後の面倒を見る人が家にいない。大迫小学校は学童クラブがあるが、亀ヶ森・内川目は距離もあることから、学童クラブの利用は難しい。子育て世代への支援の施策を進めていければよいと思う。	亀ヶ森小・内川目小においては平成28年5月1日における児童数がそれぞれ31人、22人と少人数です。 国の補助対象となる学童クラブを運営するにあたり構成児童が少なければ十分な補助が受けられず、また補助要件として一定の開催日数が必要であるが運営人員の確保も見込めないことから、それぞれの地域での継続的な学童クラブの設置は困難と考えております。 このような事情から両地区には学童クラブは存在しませんが、市が実施する放課後子供教室を開催しており、現状では月平均3回の開催状況です。 昨年8月に実施した利用者アンケートによると週1回程度の開催が良いとの声が多いため、今後も本事業の実施により子育て支援を進めてまいります。 (施策の方向の「子育て支援活動の支援」を「推進」に修正します。)	B(一部)	◇施策の方向 (3)地域における子育て支援の推進 ・地域における子育て支援活動の推進	108
40					◎	3-1-1	子育て支援の充実	国保医療課	素案では、中学生医療費助成事業があったが、今回の説明には含まれていない。大変重要な政策である。移住対策や子育て支援を行い、少子化対策を充実させていくという考えからすると、記載を復活させるべき。	平成29年度からの実施は困難ですが、ご指摘の通り、重要な政策であることから、中期プランに明記し、引き続き検討してまいります。	A(全部)	◇主要事業 「中学生医療費助成事業」を追加	108

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
41			◎			3-2-2	豊かな人間性の育成	小中学校課	文部科学省では、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるものである」としているが、中期プランでは学校教育と生涯学習はバラバラの記載に感じられ、文部科学省の方針と異なる。	文部科学省が言う、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるもの」とは、学校教育、特に小・中学校段階の教育が、生涯にわたる学習を行うために必要な基本的な能力と自ら学ぶ意欲・態度を育てる点で重要な役割を持っているということであり、学習指導要領において、思考力・判断力・表現力などの能力の育成を重視することとしてきました。本計画においても、3-2学校教育の充実における、「学力体力の向上」や「豊かな人間性の育成」において目指す学校教育の方向は同じであり、また3-5生涯学習の推進においては、学校教育で培ってきた基盤を十分に考慮しながら自主的な生涯学習活動ができるように支援していくものと考えております。	C(同一)	—	117
42			◎			3-2-4	教育環境の充実	小中学校課	重点戦略および施策の方向に「私立高校の振興に対する支援」と「高校以上の修学に対する支援」とあるが、主要事業には具体的な記載がない。小中学校に関する主要事業の記載はあるので、重点戦略および施策の方向に小中学校に関する記載が入ってもよいのではないかと。【記載方法について検討する旨を回答】	重点戦略及び施策の方向に記載されている内容は、すべて市の所管する小・中学校にかかわるものであることから、「小・中学生の」と明記します。高等学校以上の部分については、施策の方向に「(3)高校教育への支援」を追加し、まとめて記述します。また、施策の方向にある、「高校以上の修学に対する支援」及び「自立支援に向けた修学資金援助」に係る主要事業と、「大迫高等学校生徒確保対策協議会補助金」「大迫高校生ベルンドルフ市派遣事業」を記載しました。	B(一部)	施策3-2-1 (1)学力の向上 ・小・中学生の「学力向上アクションプラン」の推進  施策3-2-2 (1)豊かな人間性の育成 ・小・中学生の地域体験学習の充実 ・小・中学生の地域と連携したキャリア教育の推進  施策3-2-4 (3)高校教育への支援 ・私立高等学校の振興に対する支援 ・市内県立高等学校の存続及び学級数の維持による教育の機会均等の確保 ・高等学校以上の修学に対する支援  ◇主要事業 ・奨学金活用人材確保支援事業(小中学校課) ・はなまき夢応援奨学金事業(小中学校課) ・大迫高等学校生徒確保対策協議会補助金事業(教育企画課・大迫総合支所地域振興課) ・大迫高校生ベルンドルフ市派遣事業(国際交流室・大迫総合支所地域振興課)	119
43			◎			3-2-4	教育環境の充実	小中学校課	休日のスポ少等の活動で、施設開放で校庭等を使用させていただいているが、外用のトイレが少なく困っている。休日でもトイレを利用できるよう、対応してもらうことは可能か。	施設開放は既存の施設を開放するものであり、トイレについても既存施設で利用可能なものを利用していただきたいことから新たにトイレを設置することは考えておりません。また、トイレ使用のために校舎等を開放することは、安全・防犯管理上困難であることをご理解いただきたく存じます。	E(困難)	—	119

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A～Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
44			◎			3-2-4	教育環境の充実	小中学校課	文部科学省では、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるものである」としているが、中期プランでは学校教育と生涯学習はバラバラの記載に感じられ、文部科学省の方針と異なる。	文部科学省が言う、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるもの」とは、学校教育、特に小・中学校段階の教育が、生涯にわたる学習を行うために必要な基本的な能力と自ら学ぶ意欲・態度を育てる点で重要な役割を持っているということであり、学習指導要領において、思考力・判断力・表現力などの能力の育成を重視することとしてきました。本計画においても、3-2学校教育の充実における、「学力体力の向上」や「豊かな人間性の育成」において目指す学校教育の方向は同じであり、また3-5生涯学習の推進においては、学校教育で培ってきた基盤を十分に考慮しながら自主的な生涯学習活動ができるように支援していくものと考えております。	C(同一)	—	119
45			◎			3-3-1	自主的学習の推進	生涯学習課	文部科学省では、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるものである」としているが、中期プランでは学校教育と生涯学習はバラバラの記載に感じられ、文部科学省の方針と異なる。	文部科学省が言う、「生涯学習は学校教育の基盤の上に展開されるもの」とは、学校教育、特に小・中学校段階の教育が、生涯にわたる学習を行うために必要な基本的な能力と自ら学ぶ意欲・態度を育てる点で重要な役割を持っているということであり、学習指導要領において、思考力・判断力・表現力などの能力の育成を重視することとしてきました。本計画においても、3-2学校教育の充実における、「学力体力の向上」や「豊かな人間性の育成」において目指す学校教育の方向は同じであり、また3-5生涯学習の推進においては、学校教育で培ってきた基盤を十分に考慮しながら自主的な生涯学習活動ができるように支援していくものと考えております。	C(同一)	—	122
46			◎			3-4-3	大規模スポーツ大会の開催	スポーツ振興課	田瀬湖でのポート日本代表の事前合宿については分かったが、その他にもスポーツキャンプむらや総合体育館、ふれあい運動公園など施設はそろっている。盛岡や北上では誘致の推進が進んでいるようなので、ポート競技以外のサッカーやソフトボールなど他の競技のなかでやれる範囲でかまわないので「大規模大会の誘致」および「合宿の誘致」について具体的なアクションを今からでも起こしてほしい。 【記載方法について検討する旨を回答】	既に各競技団体やはなまきスポーツコンベンションビューローとの連携のもとに、スポーツ大会や合宿等の誘致を行っており、平成29年度には第5回東アジアU-22ハンドボール選手権が当市を会場に行われますが、今後も広域的な連携を視野に入れながら、積極的な誘致推進に努めます。	D(参考)	—	130
47			○			3-5-3	文化財の保護と活用	文化財課	市内には文化財としていいものがたくさんある。例えば伊藤家や小原家といった建築物があるが、あいったものを結ぶような建築が好きな人へのアピールがあれば人が集まると思う。もっとこんな文化財があるんだというアピールが必要だと思う。	文化財の市民への周知は不可欠と考えており、地域事業の開催に文化財を活用するなどの取り組みを行っていることから、施策の方向(2)に「文化財を活かした地域事業への協力」を掲載しています。 文化財の活用をとおして周知を行っていることが、よりイメージしやすいよう主要事業の文化財保護活用事業の事業概要に、「古民家を利用した民俗芸能鑑賞会の開催など、」との文言を書き入れます。	B(一部)	◇主要事業 文化財保護活用事業 「古民家を利用した民俗芸能鑑賞会の開催など、文化財を積極的に活用し、周知を図る。」	136
48			◎			4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	地域おこし協力隊について、会議の場に参加していただいたことで素晴らしい意見を聞くことができた。ぜひ今後も活用したいので、事業を継続して行っていただきたい。	地域おこし協力隊については、現在12名の方が活躍しております。主要事業の「地域おこし促進事業」に掲載した通り、外部の目線を生かした地域の活性化のため、市では今後とも協力隊の活動を支援してまいります。	C(同一)	—	142
49			◎			4-1-1	地域づくりへの参加促進	地域づくり課	詳細な調査要求と矛盾するかもしれないが、大事なものは「市民との協働による推進」です。資料作成・調査活動以上に、市職員がコミュニティにどんどん出向き住民との接触と協働にエネルギーを注ぐことを期待する。 ※4-1-2も同様	市では市職員も含め、幅広い年代が地域づくりに関わられるような仕組みづくりへの支援を進めるほか、地域における対話の場場づくりを進めるために欠かせない進行役(ファシリテーター)の人材育成にも力を入れてまいります。	C(同一)	—	142

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
50			◎			4-1-2	コミュニティ会議の基盤整備	地域づくり課	地域コミュニティに関する部分の記載が薄い。地域コミュニティを今後維持していくことへの不安・懸念があるため、重点戦略に位置付けるなど強く打ち出すべき。 【重点戦略への記載および内容について検討する旨を回答】	今年度コミュニティ会議が発足して10年という節目の年でもあることから、コミュニティ会議の成果と課題を振り返るワークショップを4地区において実施いたしました。来年度以降も継続して全コミュニティ会議においてワークショップを実施いたします。その結果は全コミュニティ会議で共有し、市、コミュニティ会議それぞれの今後の活動やコミュニティ地区の仕組みなどで取り組むべきことを確認したうえで、取り組めるものから取り組み、協働のまちづくりを推進してまいります。	D(参考)	—	144
51			◎			4-1-2	コミュニティ会議の基盤整備	地域づくり課	コミュニティ会議の研修会に参加したが、どの回も素晴らしい内容だった。「対話に基づく(対話を大切に)したコミュニティづくり・地域づくり」のような事業があってもよいと思う。可能であれば平日に開催してもらえれば、職員にも派遣命令を出せてよいと思う。	コミュニティ会議と使徒の協議の場を開催しているほか、ワークショップ形式を活用した対話による地域づくりを推進してまいります。研修の平日開催についてはご意見として承ります。	C(同一)	—	144
52			◎			4-1-2	コミュニティ会議の基盤強化	地域づくり課	コミュニティにも期待されている部分が大きいと思うので、何ができるかということを考えたい。現在は、コミュニティに来る人が60~70代のため、元気に事業をやるためには40代が中心になることが大事だと思う。具体的にできることができた時には、ぜひ支援していただきたい。	地域づくりに幅広い年代が関わられるよう、対話による地域づくりを行うことで若い方の参加を求めています。	C(同一)	—	144
53	◎					4-2-3	男女共同参画の浸透	地域づくり課	LGBT(性的マイノリティー)のことについて理解を進める取り組みについて記載するべきではないか。	平成28年度から実施している第2次男女共同参画基本計画の中で、差別や偏見の解消に向けた情報提供を行うなどLGBTへの理解を進める取り組みを行ってまいります。その取り組みを明確にする為、施策の方向に「LGBT(性的マイノリティー)の理解の促進」を追加します。	A(全部)	施策の方向に「LGBT(性的マイノリティー)の理解の促進」を追加	148
54				◎		4-2-3	男女共同参画の浸透	地域づくり課	成果指標に「審議会委員等に占める女性の割合」が掲げられているが、増えた女性委員が公平に男性委員と同じ発言機会を活用しているかが問題だと思う。「発言の持ち時間制」、「会議では女性ファーストで発言していただく」などの工夫をして発言機会を増やし、女性の視点が市政(コミュニティ)づくりに結びつくようにしてほしい。	審議会等の多くにおいては、女性委員の発言も男性委員と同様に多いと理解しておりますが、女性委員の発言機会が少ない場合には発言機会の確保に努めてまいります。	D(参考)	—	148
55	○					5-1-3	わかりやすい市政情報の提供	秘書政策課	市の取り組みについて、市民への周知が十分に図られていないのではないかと感じることもある。市の取り組み全部をわかる必要はないと思うが、自分が関わってくる分野だけでも知ることができるような周知はできないものか。	市からの情報提供については、広報はなまきのほか、市ホームページやフェイスブック、ツイッター、えふえむ花巻、東和地域での有線放送などを活用しているほか、27コミュニティ地区における市政懇談会等で市の取り組みの周知を図るなど積極的に行っているところではあります。しかし、いまだ市民への周知が十分でないところのご指摘が多くあり、さらなる周知方法について検討しているところではあります。市民すべての方がアクセスできる周知方法が見当たらないのが現実です。市ではこのほか、子育て情報・移住情報に特化したホームページからも情報提供を行っておりますが、多くの市民の方々はこのような取り組みを知らないという現実もありますので、定期的に広報はなまきなどでもお知らせしていきたいと考えております。	D(参考)	—	154

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの

議員説明会・自治推進委員会(地域協議会)・市民説明会意見等一覧表

No.	花	大	石	東	議員	施策番号	施策名	主管課	意見等	検討結果(市の考え方)	反映予定区分	第2期中期プラン(案)への反映予定状況	掲載ページ
56		◎				5-2-1	適正な財政規模への移行	財政課	中期プランを進めるにあたって、予算は大丈夫か。無理のない予算で、無理のない事業を行ってほしい。	中期プランに掲載した事業については、常に市税や地方交付税などの状況把握に努めるとともに、交付税措置の有利な地方債や各種基金を有効に活用するなどにより、限られた歳入の範囲内でできる限り実施できるよう努めてまいります。	C(同一)	—	157
57		◎				5-2-3	市有財産の適正な管理	契約管財課	長い目で見たときに無駄がないということが大事だと思う。新しいものを作るということは非常に魅力はあるが、長く継続できない、使用されなくなったということがないようにしてほしい。	花巻市公共施設マネジメント計画(基本方針編)において、計画期間を平成29年度(2017)から平成68年度(2056)までの40年間、基本理念を「長期的な視点を持って常に40年先を考える」と掲げており、長期的視点にたつて公共施設の「量の最適化」「質の最適化」「運営の最適化」を図ってまいります。	C(同一)	—	159
58				◎		5-1	効率的・効果的な行政運営	秘書政策課	「市からの様々な各種委員の統廃合の検討について」を政策の方針に記述してはどうか。 ※各部・各課の縦割りで地域に様々な委員が委嘱されており、人口減少及び高齢化の進行により、それらのなり手が不足して1人で複数の委員等を担っているのが現状である。そこで、ぜひ統廃合を検討すべきだと考える。	市がお願いしている各種委員等については、例えば中期プランの中でも、政策2-4「日常生活の安全確保」において防犯隊員や交通指導員の人員確保が困難となっているなど、課題ととらえており、実情をお伺いしながら対応について検討してまいります。	D(参考)	—	151
59	◎							生活環境課	動物の殺処分をゼロとは言わないが、減らすことについて記載するべきではないか。犬猫は花巻は殺処分件数が多いと感じる。飼い主が責任を持った飼い方をしてくれば殺すことはない。市としても啓発してはどうか。(殺処分は県の業務であることは説明済み)	動物の殺処分は、動物愛護の観点から減らしていくべきであると捉えていますが、殺処分に係る事務は、動物の愛護及び管理に関する条例(平成17年岩手県条例第35号)に基づいて岩手県が実施する事務となっており、市町村はこの条例に基づき必要な協力を行っているところです。県では、不幸な殺処分を防止するためチラシ等による啓発を行っており、市としても、狂犬病予防注射の際に飼い主に対してチラシを配布するなど動物飼育のルール及びマナーについて啓発を行っているところです。	D(参考)	—	
60					◎			財政課	p179・p180の主要事業費のうち投資的経費の記載について。p183の財政見通しにおける投資的経費と4千万円から6千万円ずれているのはなぜか。同じにしたほうがわかりやすいように思う。	p179の分野別事業費にかかる投資的経費は主要事業を積み上げたものであり、p183の財政見通しにかかる投資的経費は、主要事業以外の投資的経費も積み上げているため、一致いたしません。しかし、ご指摘のように数値に差異があることは、混乱を招くことから、p183の財政見通しにかかる投資的経費に「主要事業」と「その他・災害復旧等」として記載し、主要事業における投資的経費については数値の合致を図ることとしました。	A(全部)	投資的経費を「主要事業」分と「その他・災害復旧等」分に分けて記載	183

意見区分

- ◎: 地域協議会
- : 市民説明会

意見反映区分

- A(全部): 意見の内容の全部を反映し、意見を修正したもの
- B(一部): 意見の内容の一部を反映し、意見を修正したもの
- C(同一): 意見と案の趣旨が同一であると考えられるもの
- D(参考): 事業等の実施段階で参考とするもの
- E(困難): A~Eのいずれも困難であると考えられるもの